

ikumoriプロジェクト

# 年次報告書 2024



NISSIN EX.

# 年次報告書 2024



## 目次

1. はじめに
2. ikumori プロジェクトとは /SDGs との関連性
3. ikumori プロジェクト第3期（2023年7月～2024年6月）トピックス
4. ikumori 製品の販売実績と植樹実績
5. ikumori 製品の施工事例 / ユーザー様の声
6. ikumori 製品のご紹介



## 1. はじめに



2021年「森からいただいた広葉樹をいただいた量だけ森にお返し」を掲げスタートした「ikumoriプロジェクト」。2024年6月30日で第3期を終え、2024年7月から2025年6月までの第4期を迎えております。2021年10月に第一回の植樹で始動し、同年12月より ikumori 製品の正式発売を開始いたしまして、大変多くの反響を頂戴いたしております。本年は5月と10月に植樹を実施いたしました。これにより、第3期分として予定の植樹を完了いたしましたので、当年次報告書作成のはこびとなりました。「ikumori」は林業関係者、製品生産者、販売者、購入者と、様々な立場の方々にご賛同いただいで進めるプロジェクトです。この報告が皆様とのコミュニケーションの一つとなり、息の長い広がりのある活動の一助となることを願っております。



## 2. ikumori プロジェクトとは /SDGs との関連性



ikumori プロジェクトでは、自然に育った北海道の広葉樹をできるだけ無駄なく効率よく使用して、製品を製造販売、製品に使用した量に見合う広葉樹を植樹します。広葉樹林の面積のバランスを維持し、より豊かな生態系を育て将来世代に貴重な森林をひきついでいきます。そしてプロジェクトの対象 ikumori 製品はインテリア素材を検討される方々にエシカルな製品の選択肢をご提供いたします。

ikumori プロジェクトは以下にご紹介する SDGs 目標を中心に取り組み、サステナブルな社会づくりに貢献いたします。



### 15. 陸の豊かさを守ろう

ikumoriプロジェクトは、使用した北海道産広葉樹の原木量に見合う広葉樹の苗木を植樹することによって、持続可能な森林の利用を実現します。また植樹を通じて、土壌の保全をはかり、豊かな生態系を育みます。



### 12. つくる責任つかう責任

ikumoriプロジェクトでは、杢(もく)や節など通常は除去される部分も意匠として使用することにより、廃棄木材を削減しています。また、ウェブサイトや SNS などを通じて、森林保全やエシカル消費などについて伝え、エシカルなライフスタイルへの関心を高めていきます。



### 13. 気候変動に具体的な対策を

ikumoriプロジェクトの推進によって、二酸化炭素の固定と吸収に貢献します。ikumori製品は国産材100%使用製品ですので外国産材の使用と比較すると輸送エネルギー=CO2排出の削減につながります。



### 17. パートナリープで目標を達成しよう

ikumoriプロジェクトは弊社だけではなく、製造事業者や森林組合、専門家などさまざまな方々との協働で展開していきます。

## 今後取り組んでいく目標

目標の 14 と 4 に貢献する取り組みも今後行います。





### 3. ikumori プロジェクト第3期 (2023年7月～2024年6月) トピックス

©ikumori 生き物調査



ikumori プロジェクトでは落葉広葉樹の森林面積の維持に取り組むことで、豊かな生態系を育てていくことを目的の一つとしています。広葉樹の植樹がもたらす生物多様性への効果検証のための取り組みとして ikumori 生き物調査を行っております。

第2回目の生き物調査（2023年7月26日開催）は、スマートフォンアプリ「BIOME（バイオーム）」を使用して実施しました。

今回の生き物調査では、前回同様に植樹地を調査エリアとし、54件（約34種類）の生き物データが集まりました。

今回一番多く発見されたのは、5件投稿された「サッポロフキバッタ」でした。北海道に広く分布する短翅型のバッタです。植物では「ヒメジョオン」というキク科ムカシヨモギ属の花が多く発見されました。

樹木が育っていく中で発見される生き物がどんなふうに変遷していくのか継続して実施し、発見や学習の場にしてまいりたいと思います。



## 4. ikumori 製品の販売実績と植樹実績

### ◎植樹樹種

ikumori 製品に使用している 3 種類の広葉樹、ナラ・ニレ・センの苗木を植樹いたしました。



#### ナラ

いわゆるどんぐりの木。多くの生き物を育むことからヨーロッパでは「森の王様」と言われる。虎斑とよばれる虎の背に似た模様が人気で経年変化も楽しい。



#### ニレ

真っ直ぐな木目が美しいニレ。別名、アカダモ、オヒョウニレとよばれる 2 種類のニレを使用。リズム感のある木目が特徴。



#### セン

鋭いトゲがあり、質感が桐に似ていることからハリギリとも呼ばれる。柔らかさと丈夫さを兼ね備え、明るいクリーム色の木目が美しい。

### ◎植樹場所 / 北海道赤平市

プロジェクトパートナーの空知単板株式会社様に植樹場所を準備いただき北海道赤平市に植樹いたしました。



◎第3期（2023年7月～2024年6月）製品販売実績及び植樹実績

下表-1のとおり、各樹種の原木消費実績を上回る植樹を完了いたしました。一方、植樹計画数に対しましては約30%程度の実績となりました。これは植樹を予定しておりました山林の伐採計画の変更に対応できなかったことが大きな要因となりました。下表-2のとおり1期～3期の植樹数の累計では原木消費実績を上回る植樹実施数となっております。

## 販売・植樹実績

<表-1 第3期実績>

	ナラ	ニレ	セン
フローリング販売実績	984.94 m <sup>2</sup>	416.34 m <sup>2</sup>	701.46 m <sup>2</sup>
パネル販売実績	330.75 m <sup>2</sup>	176.82 m <sup>2</sup>	13.1 m <sup>2</sup>
原木消費実績（※）	37本	23本	38本
植樹計画数（※）	<b>148本</b>	<b>92本</b>	<b>152本</b>
植樹実施数（2024年5月10日）	30本	-	-
植樹実施数（2024年10月5日）	10本	30本	40本
<b>植樹実施数 合計</b>	<b>40本</b>	<b>30本</b>	<b>40本</b>

<表-2 プロジェクト累計植樹実績>

	ナラ	ニレ	セン
原木消費実績（※）	91本	61本	86本
植樹計画数（※）	389本	244本	349本
<b>植樹実施数 合計</b>	<b>205本</b>	<b>86本</b>	<b>119本</b>

※原木消費実績及び植樹計画数については製品に使用する原木の材積、仕様に適合する単板の材積及び木質建材として適合する歩留まり等から原木消費実績を算出し、さらに植樹した苗の20%～25%が生育すると仮定した想定概算が植樹計画数です。



## 5. ikumori 製品の施工事例 / ユーザー様の声

実際に ikumori 対象商品をご採用いただいた施工事例をご紹介します。



床：ikumori フローリング 北海道産ナラ ルビオ自然オイル塗装（ピュア）

物件名：立町リノベーション

設計：合同会社 negla 設計室 様

「営業の方から定期的に連絡をもらっていたので ikumori について知りました。今回の案件があった時に、普段とは違う新しい材を使ってみたいと思いました。また、購入し住まわれた方が SDG s について深く考えていなくても、この材を使用していることで実は植樹されていて環境にいいことをしていて、「自分もいいことしたな」という気持ちになれるのかなと思いました。1つのストーリーがあり他と違うという点で、商品選定の後押しとなりました。」



## 5. ikumori 製品のご紹介

### ikumori FLOORING



ナラ

ニレ

セン

#### ikumori フローリングの3つの特徴

- ①表層単板は北海道を代表する広葉樹の挽板を使用。基材の合板にいたるまですべて100%国産材&国内製造
- ②樹木の逞しさと生命力を感じさせる表情と木目の美しさを併せ持つ
- ③幅150mm、長さ1800mmと森の木立を彷彿とさせるダイナミックな製品サイズ

商品名	規格
複合北海道産ナラ150幅	【厚み】14(表層単板2mm) 【幅】150mm
複合北海道産ニレ150幅	【長さ】1800mm
複合北海道産セン150幅	【仕上げ】UV塗装(抗ウイルス加工) 【入数】1.62㎡/6枚/束

### ikumori PANEL



ナラ

ニレ

セン

#### ikumori パネルの3つの特徴

- ①表層単板は北海道を代表する広葉樹の突板を使用。
- ②スライサーによる突板のため、挽板と同様の自然な木目の表情。また、スライス技術を駆使した突板は、自然な荒々しさを表現。
- ③幅180mm×長さ1820mmと森の立ち木を彷彿とさせるダイナミックな製品サイズ

商品名	規格
北海道産ナラ	【厚み】6mm 【幅】180mm
北海道産ニレ	【長さ】1820mm
北海道産セン	【仕上げ】ウレタン樹脂塗装(リアルマット) 【入数】10枚/束 【取得認定】不燃材料認定NM-1316



## お問い合わせ

株式会社ニッシンイクス  
マーケティンググループ

〒745-0814 山口県周南市鼓海2丁目118番63

TEL.0834-36-1700 FAX.0834-36-1711

Email : info@ikumori.jp

ikumori プロジェクト特設サイト URL

<https://ikumori.jp/>



コーポレートサイト URL

<https://www.nissin-ex.co.jp/>

